

全国のリスナー・読者のみなさんから、
ファミリー・フォーラム宛に、Eメールやお便りを頂いています。
その一部をここで紹介いたします。

○53号を読んだ読者より

「神主さんの回心（新井利康さん）」「苦い根からの解放（エリヤハウスジャパン）」が良かった。結婚後の夫婦関係をよりよく維持していくための特集などを希望します。自分をはじめ、苦しんでおられる夫婦をたくさん見かける度、必要を覚えます。（神奈川県 Nさん）

○2月のアブステナンスセミナー 受講者より

・包括的性教育のテキストに、あまりにも偏ったまちがった思想が入り込んでいるので驚きました。娘は5歳で、もう少しで小学生です。「大人の恐れが一番サタンにつけ込まれてしまう」という先生のことばにはっとさせられました。親子の良好なコミュニケーションが大切だと思われました。「ダメ」「あぶない」ではなく、肯定的なアプローチをしていきたいです。（山田和恵）

・今までこの分野でユースに接し、関わってきました。それでも交際し性交渉を持つケースがありました。恐れを持っていたことにも気づかされ、あらためて立ち上がる決心をしました。欲を言えば、日常の具体的なかわりのケース検討などがあれば、さらに動機づけになると思いました。（Kさん）

・地域の中学高校などで広められたらよいと思っています。（Sさん）

・1日の情報量としてはかなり多いので、整理するために、もう

一度、今日のレジュメを読み返してみたいと思います。自分自身の認識がいかにこの世界の流れに影響を受けていたかに気づきました。（Oさん）

・高校での授業、ホームルームなどで活用していきたい。今までも毎年50分間で話してきたが、Sexを要求された時に、イエス、ノーを答えた時のリスクの面が、とても具体的でよかった。（Yさん）

・公立の学校で養護教諭として勤務しています。保健室に入室した児童生徒に、聖書を土台としたアブステナンスの価値観を伝えていきます。今日のセミナーで改めて包括的性教育のひどさを実感しました。FFJの働きが祝福されるようにお祈りします。（匿名希望）

○過去の受講者より

・N市のある子育て支援のNPO主催の性教育ワークショップがあり、視察（偵察？）のつもりで行ってきました。内容は包括的性教育そのもので、別室で年長から3年生までの子どもを集めて性交まで教えていました。大人のワークショップでは、やはりセーフセックスがかなり強調されていて、「子どもが年頃になって、好きになった人とHするのはとても素敵なこと・・・」などと語られていて、聞いていてムカムカしてきました。

質疑応答の時間があつたので、気持ちを抑えながら、率直な疑問をいくつか投げかけてみまし



た。（アブステナンスセミナーで学んだことです）それに対しては明確な答えは返ってこなかったのですが、終わってから、そのNPOの方々と少し話すことができました。そこでアブステナンスの考え方を少し紹介すると、自分たちも何をどう教えたらいいかわからず、結局日本語で手に入る資料で、家族計画協会やアーニ出版のものを鵜呑みにしてそのまま使っていたとのことでした。多くの人々は、明確な答えを持たないまま、あまり深い考えもないまま、包括的性教育を鵜呑みにしているその現実を知りました。

それでも真面目に性を学ぼうとしている人々はいるので、自信をもって対案を示し、世に一石を投じていくことが必要なんだと痛感させられました。そのNPOのスタッフの一人の方が興味を持ってくださり、私の連絡先を置いてきたので、今後何らかのかたちでつながりを持ち、アブステナンスを発信していけたらと思っています。（千葉県 Gさん）

